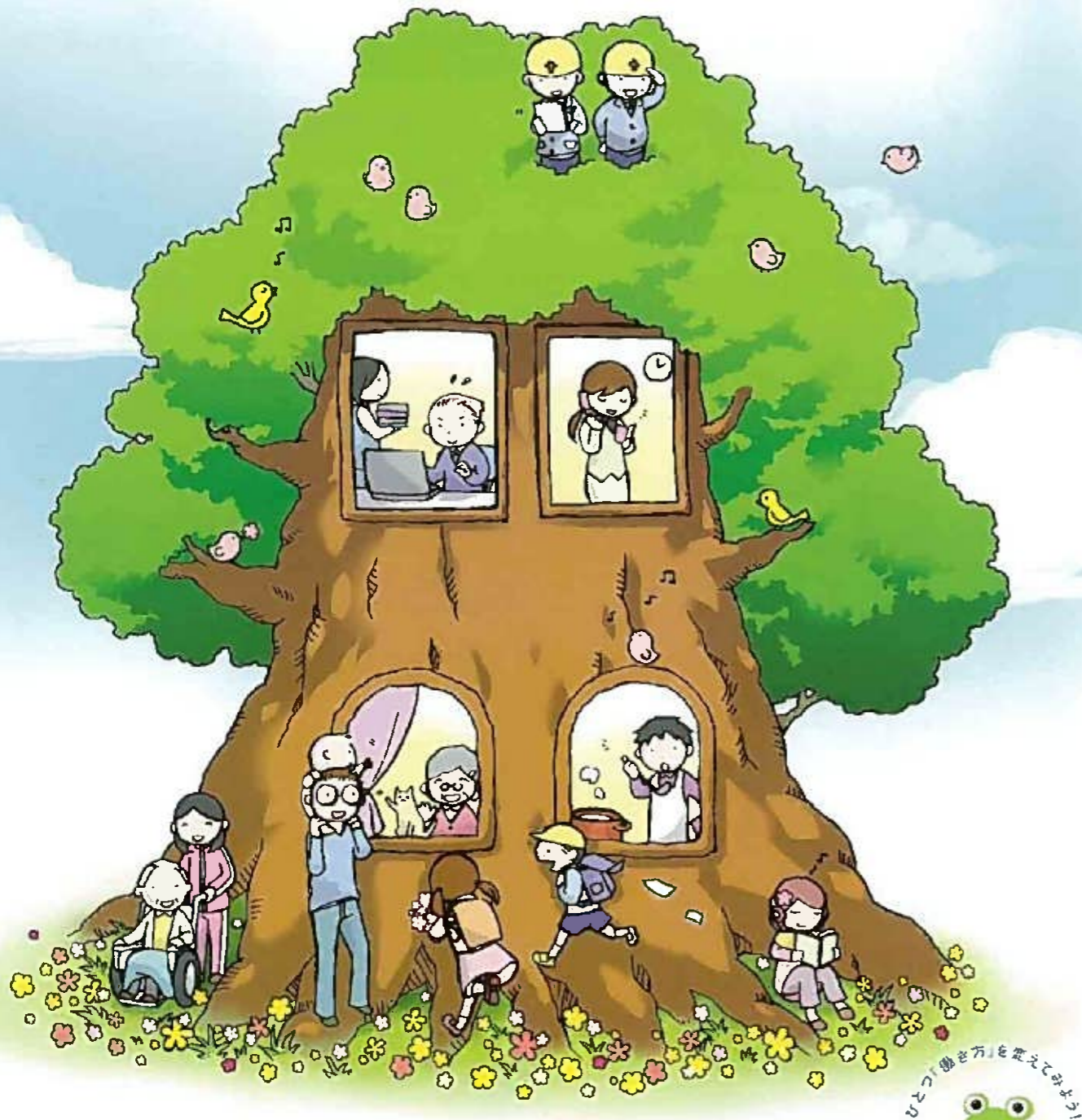


第3回

WORK-LIFE BALANCE AWARD 北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰

共に働き、共に暮らす。

〈仕事と生活の調和〉に取り組む企業と個人を表彰しました。



北九州市 子ども家庭局 男女共同参画推進部



KITAKYUSHU CITY WORK-LIFE BALANCE AWARD

事業の趣旨

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女が共に働く喜びを感じることができる社会環境の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりに取り組む企業・団体等（個人を含む）を表彰し、その取り組みを広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和） とは？

ワーク・ライフ・バランスは、働く人と周りの人にとって、
切実でささやかな希望です。

【ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは】

仕事上の責任を果たそうとすると、仕事以外の責任（家事・育児・地域活動）や仕事以外でやりたいこと（趣味・勉強）などができず、いつも心に葛藤を抱えている状態。

【ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは】

仕事上の責任を果たすと同時に、仕事以外の責任（家事・育児・地域活動）や仕事以外でやりたいこと（趣味・勉強）などに普通に取り組める状態。誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。

お問い合わせ

北九州市 子ども家庭局 男女共同参画推進部

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

TEL (093) 582-2405 FAX (093) 582-2624

●詳しくは [北九州市WLB表彰](#) [検索](#)

子育て支援や男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業とワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実践している個人です。

市長賞

社会福祉法人
北九州市手をつなぐ育成会



- 業種 社会福祉事業
- 理事長 北原 守
- 所在地 戸畑区汐井町1-6
- 職員数 170人(うち女性88人)

表彰理由

- 「職場環境日本一」を目標に現場と一体となって取り組む環境づくり
適切な労働時間管理のための残業管理委員会による話し合いや職場訪問等の活動実績。
職場環境の改善・向上を目指し、残業問題や育児休業制度のアンケートを全職員に実施。
- 育児・介護休業制度の充実と実績
育児休業・介護休業中の給与の一部支給、育児短時間勤務・介護休業の期間延長等の法定以上の規程を独自に設定。介護休業に関して、管理職の利用実績もあり。

市長賞

〔個人部門〕

籠田 淳子 籠田 修一
夫妻



(有)ゼムケンサービス(建設業)

表彰理由

- 夫婦共同で子育て、地域活動に取り組むワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実践している
夫婦でお互いの仕事のスケジュールや得手、不得手により柔軟に家事を分担。妻の社長業を夫が支え、子育てにも積極的に関与。保育園から小学校まで9年(継続中)に渡り、夫婦どちらかが保護者会やPTAの役員を務める。経営者である妻は、「あなたらしく・わたしらしく」をモットーに、子育てしながら働きやすい職場環境の整備に力を注ぎ、社員のPTAの行事や地域活動への参加を後押ししている。夫は保護者会などにおいて父親の参加を呼びかけ、参加者を増やすなど、周囲の父親をリードし、よい影響を与えている。

市長賞

株式会社
新 菱



- 業種 製造業(化学)
- 代表取締役社長 日下部 正裕
- 所在地 八幡西区黒崎3-9-24
- 社員数 595人(うち女性47人)

表彰理由

- 企業風土形成のための活発な周知啓発活動
ワーク・ライフ・バランス通信や社内報による周知啓発活動等、風土形成のための継続的な働きかけ。
- 「両立支援プロジェクト」の設置・活動
各職場従業員代表と総務人事部により構成。働きやすい職場環境と、子育てを含めた生活の充実のための積極的な活動。
- 雇用形態に関わらない育児・介護支援の制度・実績
パート等の契約社員を含め育児休業取得ができ、取得実績もあり。

奨励賞

コンダクト
株式会社



- 業種 不動産業
- 代表取締役社長 和田 克之
- 所在地 小倉北区浅野2-17-38
- 社員数 25人(うち女性10人)

表彰理由

- トップのリーダーシップによる働きやすい職場環境づくり
選単位での労働時間管理による長時間労働の防止。
子育て中の従業員の勤務時間における柔軟な対応等、従業員の個別の事情にあわせた制度運用。

奨励賞

株式会社
不動産中央情報センター



- 業種 不動産サービス業
- 代表取締役社長 濱村 美和
- 所在地 小倉北区東篠崎1-5-1
- 社員数 100人(うち女性39人)

表彰理由

- 「女性活性化推進プロジェクト」の設置・活動
トップも参加し女性管理職の登用を目指したキャリアアップ支援などの積極的な活動。
- イベント(こども参観日)やパパ&ママブログによる社内の子育て応援活動

KITAKYUSHU
CITY
WORK-LIFE
BALANCE
AWARD

ワーク・ライフ・バランスは、
働く人と周りの人にとって、切実でやさやかな希望です。

事業の趣旨

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女が共に働く喜びを感じることができる社会環境の実現は、
企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。
そこで、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりに取り組む
企業・団体等(個人を含む)を表彰し、その取り組みを広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは

仕事上の責任を果たそうとすると、仕事以外の責任(家事・育児・介護・地域活動)や仕事以外で
やりたいこと(趣味・勉強)などができず、いつも心に葛藤を抱えている状態。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは

仕事上の責任を果たすと同時に、仕事以外の責任(家事・育児・介護・地域活動)や
仕事以外でやりたいこと(趣味・勉強)などに普通に取り組める状態。
誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、
様々な活動を自分の希望するバランスで
実現できる状態のことです。

(お問合せ)

北九州市 子ども家庭局 男女共同参画推進部

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

TEL.093 582 2405 FAX.093 582 2624

詳しくは

北九州市印刷物登録番号第1035040C号

第4回 北九州市
ワーク・ライフ・バランス表彰
KITAKYUSHU CITY WORK-LIFE BALANCE AWARD



みんながやれば、
うまくいく。
〈仕事と生活の調和〉に取り組む
企業と個人を表彰しました。



北九州市 子ども家庭局 男女共同参画推進部

ワーク・ライフ・バランスは、仕事と生活に、
よりいっそうの生きがいと喜びをもたらします。



子育て支援や男女がともに働きやすい
職場環境づくりに取り組んでいる企業と、
ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を
実践している個人を表彰しました。

市長賞

財団法人厚生年金事業振興財団
九州厚生年金病院

院長/多治見 司
業種/医療
所在地/八幡西区岸の浦1-8-1
職員数/1025名(うち女性773名)



◆表彰理由

充実した育児休業制度と院内保育所(病児保育所併設)の設置
法定を超える育児休業制度(3歳に達する日まで)を導入し、職員が離職することなく、安心して子育てに専念できる環境づくりを進めている。また、平成21年秋には、産休後の早期職場復帰を希望する職員のニーズに応じて、病児保育所も併設する、院内保育所を設置するなど、職員の仕事と子育ての両立についても併せて推進している。



院内保育所「さくら保育園」、30名を受け入れて
き、利用者も増加中。職場のすぐそばにわが子が
がいて、急な病気にも対
応してくれる場所がある
ため、安心して働ける。



市長賞

富士通コミュニケーション
サービス 株式会社
北九州サポートセンター

センター長/吉田 充
業種/サービス業
所在地/小倉北区浅野3-1-6
社員数/509名(うち女性265名)



◆表彰理由

子育て支援ワーキンググループの活動実績と充実した職場環境
育児休業取得者第1号の女性を中心に、自発的にワーキンググループを立ち上げ、子育て中のママの情報交換会や、「子育て目録」での各種制度の見直し、施設整備を会社へ提言するなどの活動が行われている。職場環境面においても、社員の意見をくみ上げ、休憩室、健康相談室、リフレッシュルーム、サイレントルーム等の設置を行うなどの充実が図られ、グループ内の他センターのモデルとなっている。



グループメンバーの活動では、日頃の情報交換に加え、出産前から職場復帰までの各段階ごとにテーマを決めた社内報「KOSODATE+(プラス)」を編集・発行。産休・育休中の社員へ届けられる。



市長賞

社会福祉法人敬寿会
美咲ヶ丘
理事長/村口 伸治
業種/高齢者福祉事業
所在地/小倉南区大字新道寺1085-1
職員数/84名(うち女性68名)



◆表彰理由

コミュニケーションのとりやすい職場風土の確立と高い職員定着率
職員が気軽に施設長や人事担当者に対して、仕事の悩みや、業務の改善案、ライフステージにあわせた柔軟な働き方の相談などができる風通しのよい職場風土があり、ニーズの把握や制度の周知などが対面できめ細かく行われている。また、「利用者へのサービス向上」と「職員の働きやすい職場環境づくり」を、運営の基本理念に掲げ、職員教育の充実と処遇改善の推進が、職員定着率の高さにつながっており、人事考課制度の「見える化」などによる職員のモチベーションアップを図る取り組みも積極的に行われている。



12年の運営の中で、今まで6人の職員が育児休業を取得。その後復帰し、働き続けている。担当業務だけに限らず「職員全員で介護の意識を持つ」という方針であることも、風通しの良い職場風土に一役買っている。



市長賞

(個人部門)

杉 信市

所属/杉建築設計事務所
職業/一級建築士



◆表彰理由

長年にわたり建築設計の仕事と両立して、育児に取り組む「元祖イクメン」
妻は福岡市内で管理職としてフルタイムで働いており、共働き世帯として、平日の夕食の準備をはじめ、保育所の送迎や病気時の通院や看護など、子どもが生まれたときから自然な形で責任を分担してきた。小学5年生の今も、保護者参観等の学校行事にはすべて参加するなど、継続して家事、育児を実践している。また、その育児の経験を生かし、青少年の健全育成のための活動に携わっており、地域の少年指導員、指導員を10年以上にわたって勤めている。



小学生の下校時刻になると、校外指導ボランティアとして晩餐をつけ、バス停に立つ。子どもたちを見守りながら、気持ちの良い挨拶やきちんとした行動ができていないかにも気をつけ、声をかける。毎日の晩御飯を何にしようかと悩みながら、「仕事も家事も段取りが大事」とテキパキ計画を立ててこなす。

奨励賞

(個人部門)

松井 真理子

所属/医療法人真鶴会 小倉第一病院
職業/看護師・メディカルイラストレーター



◆表彰理由

看護師でありイラストレーターという、新しい自己実現のロールモデル
勤務先の小倉第一病院には、本職以外の資格・特技を生かせる「マルチタレント」制度があり、正看護師として業務に従事しながら、特技を生かしイラストレーターとしてもいきいきと活躍している。看護師として働く前には、デザイン事務所などに就職するも体調を崩し退職。一度はあきらめたイラストへの情熱をワーク・ライフ・バランスをとりながら看護師としての仕事の中で生かしており、家庭との両立を含め、新しい自己実現のロールモデルとなっている。



患者への各種お知らせや院内ポスターなどにいきいきと描かれるイラストは、「しみみやすい」「わかりやすい」と好評。現在は看護師の業務とイラストレーター業務を4:6の割合で勤務のシフトを組み、働いている。



ワーク・ライフ・バランスは、
働く人と周りの人にとって、
切実でささやかな希望です。

事業の趣旨

少子高齢社会において、子どもを産み育て、
男女が共に働く喜びを感じることができる社会の実現は、
企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。
そこで、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりなど、
ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む
企業・団体等(個人を含む)を表彰し、
その取組内容を広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが 実現できない状態とは

仕事上の責任を果たそうとすると、
仕事以外の責任(家事・育児・介護・地域活動)や仕事以外で
やりたいこと(趣味・勉強)などができず、
いつも心に葛藤を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが 実現できる状態とは

仕事上の責任を果たすと同時に、
仕事以外の責任(家事・育児・介護・地域活動)や仕事以外で
やりたいこと(趣味・勉強)などに普通に切り替える状態。
誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、
様々な活動を自分の希望するバランスで
実現できる状態のことです。

〈お問合せ〉
北九州市 子ども家庭局 男女共同参画推進部
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
TEL.093-582-2405 FAX.093-582-2624

詳しくは

北九州市印刷物登録番号第1135038C号

第5回 北九州市 KITAKYUSHU CITY WORK-LIFE BALANCE AWARD ワーク・ライフ・バランス表彰

みんなが幸せな
働き方、暮らしのカタチ。

〈仕事と生活の調和〉に取り組む
企業・団体と個人を表彰しました。



平成23年度 北九州市 子ども家庭局 男女共同参画推進部

ワーク・ライフ・バランスは、
仕事と生活に、よりいっそうの
生きがいと喜びをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、
子育てや趣味の時間、地域との関わりも持てる。
そんな調和の取れた生活を推進・実践している
企業・団体や個人を表彰しました。



市長賞

有限会社
ゼムケンサービス
代表取締役/籠田 淳子
業種/建設業
所在地/小倉北区片野3-7-4
社員数/11人(うち女性8人)



◆表彰理由

積極的な女性の活用とチームワークを大切にされた柔軟な働き方ができる職場風土の確立
社員11名のうち女性が8名を占めるなど、女性の採用、登用を積極的に行っており、独身、子育て中
など、社員それぞれのライフステージや家庭環境を考慮したワークシェアリングを7年前から実
施している。ITを利用した業務日誌等、情報の共有化により、負担の大きい社員を把握し、個々
の業務を見直して助け合うなど、“お互い様”の職場風土が確立されており、強いチームワークで繁
がっている。また、トップが、社員の地域活動への参画を積極的に後押しし、多くの社員がPTA
活動等を行っているほか、廃材を利用した社員の子どもたちへの夏休みの自由工作教室など、ユニ
ークなイベントも行われている。



産休・育休社員のワー
クシェアリング実績に
より、これまで女性の
少なかった建築業界で
も働き続けられる仕組
みができている。社員
の子どもが学校から帰
ってくるとみんなで声
をかけたり、おやつを
作ってあげたりと、会
社ぐるみでの助け合
い、子育てを行っている。

市長賞

社会福祉法人 済生会
福岡県済生会八幡総合病院
院長/松股 孝
業種/医療サービス
所在地/八幡東区春の町5-9-27
職員数/628人(うち女性446人)



◆表彰理由

院内保育所の設置、休暇取得促進やメンタルヘルス対策の充実など働きやすい職場環境の整備
予防医学の実践と普及のため、日本一職員が健康な「健康モデル病院」を目指しており、総合的に働きやすい職
場環境づくりに取り組んでいる。職員が継続することなく、安心して仕事と子育ての両立に取り組むため、院
内保育所を設置するなどのサポート体制の整備を行うとともに、パズル休暇や勤続5年毎に付与され
るサンス休暇等の制度を設け、職員の休暇取得促進に取り組んでいる。また、専属職員が対応するメンタル
ヘルス対策室を常設し、仕事上のストレスや心の悩みなど、問題が深刻化する前に、相談や手当を行うことが
実践されている。加えて、職員とその家族で行う野菜づくりと、職員食堂における“食からの健康”や“地産地消”
の取組など、医療現場ならではの視点から、職員の心身の健康維持・増進の取組が行われている。



院内に併設されている
「なかよし保育所」では
夜勤の職員のために、
週に2日は24時間休
み制度で子どもを預
かる。「食べ物から職
員の健康づくりを」と
地元野菜を中心とし
た食堂のメニューも
好評。「人にも環境に
も優しい病院」をス
ローガンに、職員の
労働環境改善や子育
て支援に取り組む。

奨励賞

社会福祉法人
北九州あゆみの会

理事長/高松 鶴吉
業種/社会福祉事業
所在地/戸畑区汐井町1-6
職員数/197人(うち女性128人)



◆表彰理由

充実した仕事と子育ての両立支援制度と活発な研修による人材育成の取組
子の看護休暇の有給化や育児短時間勤務制度の対象を小学校就学前までに拡大するなど、法定以
上の制度整備を行うとともに、嘱託職員、臨時職員の正規職員への登用を進めるなど、職員の仕事
と子育て・介護の両立支援と処遇改善に積極的に取り組んでおり、これらの取組が職員の継続就
業とモチベーションアップに繋がっている。また、各施設等から集まった職員で構成する「研修委
員会」が組織され、職員のスキルアップのための様々な研修が実施されており、人材育成に関する
取組も活発である。



嘱託職員でも正規職員
と変わらず産休・育休
が取得できる制度や、一
度退職を繰り返しても再
雇用できる再雇用制度が
整備されており、なか
には勤労30年を超える
職員も。職員の健康推進
や技術向上のための研
修も充実している。

奨励賞

(個人部門)

荒木 晴美

所属/TOTO株式会社
職業/会社員



◆表彰理由

会社員として仕事に打ち込むとともに、自己啓発等の生活の充実を実践する活動
勤め先であるTOTO株式会社では、長年に渡り商品開発などの仕事に従事しながら、家事や子
ども2人の子育てに奮闘している。また、町内会、保育所や学校のPTAなどの地域活動にも積極
的に取り組んでいる。このように多忙な中、いろいろな事に興味を覚え自己啓発にも積極的で、ド
ッグセラピスト、ペット介護士などの資格取得をきっかけに、現在は、動物を通じた地域コミュ
ニケーションの場である「ドッグカフェ」の起業を目指すとともに、働く女性を応援するボラン
ティア活動にも励んでいる。仕事、家事、子育て、自己啓発、そして起業の準備と、毎日充実した生活を送
っている働き女子。



県外出張などもある多
忙な業務ながら、勤務
後の時間や休日上手に
利用して、働く女性た
ちとのネットワークを
広げる交流や情報交
換を行ったり、自己啓
発のセミナーに参加
したりとアクティブな
毎日を過ごす。ドッグ
セラピストとしても活
動中。

奨励賞

(個人部門)

川原 英明

所属/北九州農業協同組合
職業/団体職員



◆表彰理由

野菜のスペシャリストとして、職場や家庭で影響力を発揮する“食育系イクメン”
北九州農業協同組合の直売所「かっぱの里八幡店」で店長として活躍。野菜に対する豊富な知識を
身につけて、平成23年6月には「ジュニア野菜ソムリエ」の資格を取得。職場ではスタッフや来店
者に野菜に対するさまざまな知識や料理の楽しさを伝授するなど、周りの人の食への関心を高め
ている。家庭では、2人の子どもの父親として、子育てとともに料理や掃除、洗濯等の家事を共働
きの妻と一緒にこなしている。プランターで栽培した野菜を利用した料理は子どもたちにも大人気
で、妻や子どもたちのお弁当を作ることも多い。野菜の旬や、栄養について子どもたちに教える
とともに、家族揃って食卓を囲むことの大切さを広く呼びかける、食育系イクメン。



毎日採れ立ての野菜を
店頭で並べ、来店者に
生産者の情報や旬の野
菜の美味しい食べ方な
どを広く伝える。可愛
らしく栄養バランスの
良い弁当は前日に子ど
もと一緒に買い物へ
行き、朝の10分～15分
で手早く作る。無理せ
ず楽しんで家事を行う
姿はとて自然体。

